



「災害時要援護者支援制度」の登録をお願いします

市では、災害時に自力での避難が困難と思われる人について、本人の同意を得た上で、災害時要援護者として登録(名簿の作成)を行っています。



名簿は地域づくり組織に提供し、災害時の安否確認や避難誘導の助け合いなどの支援体制の整備に活用します。積極的な登録をお願いします。

対象となる人

- ▼身体障害者手帳(肢体1・2級、視覚1・2級、聴覚2級)をお持ちの人
 - ▼精神障害者保健福祉手帳(1級)をお持ちの人
 - ▼知的障害者で療育手帳Aをお持ちの人
 - ▼介護が必要な要介護認定3~5の認定を受けている人
 - ▼70歳以上の高齢者のみの世帯の人
- ◎上記対象者以外で災害時に支援が必要と思われる人も登録できます。お問い合わせください。



登録方法

対象者には、2月に災害時要援護者登録申請書(兼個人情報提供の同意書)の用紙を送付します。同封の返信用封筒で市へ申請してください。

◎登録申請書の用紙は、今年新たに対象となった人と昨年末までに登録の意思表示をしていない人へ送付します。一度登録されますと、名張市民である限り有効です。

☎ 医療福祉総務室 63-7579
危機管理室 63-7271



ファーストエイド(応急手当)講習会 受講者募集

急な病気やけがをした人を助けるためにとる最初の行動、ファーストエイドについて学びます。

日時 2月23日(土) 午前9時30分~11時30分
場所 防災センター(鴻之台1)

内容 傷・やけどの手当、熱中症の対応など

対象 市内在住・在勤の15歳以上の人

定員 20人 ※先着順。受講無料

申込 1月25日(土)から2月4日(日) 午前9時から午後6時)までの間に、名張消防署、桔梗が丘分署、つづじが丘出張所で直接お申し込みください。

※電話申込不可。詳しくは市HPをご覧ください。

☎ 名張消防署 救急室 63-0997



自然災害と防災について考える 平成30年度名張市防災講演会

風水害を中心に、防災についてお話しします。

日時 2月10日(日) 午後1時30分~3時

場所 防災センター(鴻之台1)

講師 葛葉 泰久さん(三重大学・大学院 生物資源学専攻科教授)

◎参加無料。申込不要

☎ 危機管理室 63-7271



平成30年消防白書

☎ 消防本部予防室 63-1412
☎ 名張消防署 63-0999



火災

昨年1年間に市内で発生した火災は23件
—昨年より4件増

火災発生状況

建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	合計
9件	0件	1件	13件	23件

平成30年中の火災件数は23件で、前年から4件増となりました。約16日に1回のペースで火災が発生したことになります。中でも、その他火災が数多く発生しました。

出火原因としては、「たき火」「火入れ」などの屋外での火気取り扱いの不注意による火災が4件、「放火の疑い」による火災が4件、他には「配線器具」による火災などが主な原因でした。なお、火災による死者は1人、負傷者は7人でした。

■ 火事を防ぐ家庭での対策ポイント

- ▼放火への対策…門戸・車庫・物置など施錠管理を心掛ける。家の周りに燃えやすいものを置かない。
- ▼電気配線の注意…コンセントの差し込み口まわりの定期的な掃除。配線がねじれたり家具の下敷きになった状態で使用しない。
- ▼屋外での火の取り扱い…風の強い日や空気が乾燥している日は避ける。水の用意など消火準備をして、火を扱うときは目を離さない。



古い住宅用火災警報器は動作確認を

家庭で設置が義務付けられている住宅用火災警報器の交換の目安は10年です。動作確認はボタンを押すかひもを引くだけで簡単にできます。正常に作動しない場合や古いものは、家電量販店やホームセンターなどで購入の上、交換をお願いします。

救急救助



昨年1年間に救急車で搬送された人数は
3,472人 —昨年より330人増

救急出場状況 ※その他とは労働災害や運動競技などです。

種別	急病	一般負傷	転院搬送	交通事故	その他	合計
出場件数	2,610件	520件	320件	207件	110件	3,767件
搬送人員	2,385人	466人	318人	226人	77人	3,472人

救助出動状況 ※その他とは車内への閉じ込めや自損行為などです。

種別	火災	交通事故	機械等による事故	建物等による事故	その他	合計
出動件数	1件	16件	3件	4件	16件	40件
救助人員	1人	13人	1人	4人	15人	34人

平成30年中の救急出動件数は3,767件で、前年と比較すると394件増加しました。搬送人員は3,472人となり、前年より330人の増加となりました。

種別ごとの救急搬送人員は、急病が2,385人と最も多く、前年から271人増加。夏の猛暑の影響や65歳以上の高齢者の搬送人員が増加したことなどが主な原因と考えられます。救助出動件数は40件で、前年と比較すると4件の減少。34人を救助しました。

名張市初の女性消防隊員が配属されました



名張消防署 救急室 救急救命士 中島 優

皆さんこんにちは。昨年12月に名張消防署救急室へ配属された中島 優です。私は、人の命を救う仕事がしたいと思い消防隊員の道を目指し、今回その夢が叶いました。

119番通報をした人はパニックになっている人も多いため、出動の際、通報した相手の気持ちに寄り添うことを常に心がけて仕事に臨みたいと思っています。これから精一杯頑張りますので、皆さん、よろしくお祈りします。



お詫びと訂正 広報なばり12・2号に掲載した「市立病院だより」の「皮膚科を除き医師の紹介状が必要」と記載しましたが、正しくは「皮膚科を受診する際にも医師の紹介状が必要」となります。お詫びして訂正します。

☎ 市立病院 医事経営室 61-1100(代)

読者の声

12・2号掲載「なばりの10大ニュース2017」について ▼今年1年間の名張市の出来事が、月ごとにわかって良かったです。▼今年の広報を思い出しながら読みました。台風の影響の大雨の記事は印象的でした。子育て支援の記事は、子育て中の私にとって興味深かったです。